

5 本時の学習指導 (6 / 6 時間)

(1) 基礎・基本

- ・身の回りの事象を目的に応じて、折れ線グラフに表す。
- ・2つの折れ線グラフから、特徴や傾向をよみ取る。

(2) 目標

軸の取り方や目盛りの大きさに注意して折れ線グラフを作成したり、2つの折れ線グラフを比較して関係をよみ取ったりする。
折れ線グラフをかくときの工夫を理由をつけて発表できる。

(3) 学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	支援活動
1 本時の学習について確認する。	飯山町の不燃ごみと資源ごみの変化を折れ線グラフで工夫して分かりやすく表そう。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科で学習したことに関連させて、自分の町のごみの量を扱うことで 学習の意欲化を図る。 ・不燃ごみや資源ごみの変化を予想させてから、表を見せる。
2 表をもとに折れ線グラフにかく。	概数にしたほうがよさそうだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・概数にしたほうがグラフの点を取りやすいことを思い出させるために、前時の可燃ごみのグラフを見せる。
3 できた折れ線グラフを見て変化の様子や特徴を話し合う。	<p>表題をつけよう。 横軸には年をとろう。 縦軸にはごみ量の目盛りを最高値と最低値に気をつけながらとろう。 表をみて点を打とう。 ものさしで点をつなごう。</p>	<p>② 分かりやすい折れ線グラフにするために、軸の目盛りの取り方を工夫することができたか。 目盛りがとれない児童には、最高値と最低値に注目するように印を入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つのグラフを重ねるときは色を変えて記入すると分かりやすいことを知らせる。 ・2つのグラフの傾きに注目できるように、それぞれの線の傾きに色を付けて提示する。
4 学習のまとめを「分かったよカード」に書く。	<p>グラフを2つ重ねると変わり方が違うことが分かるよ。</p> <p>不燃ごみが減ると資源ごみが増えているなあ。何か関係がありそうだな。</p> <p>折れ線グラフに表すと、今まで気付かなかったことが分かっておもしろいな。</p>	<p>表現力育成のために まずグループで話し合ったことをワークシートに記録させることで考えをまとめさせる。その後、全体の場に広げさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日学習して分かったことを発表し合うことで、折れ線グラフのよさやおもしろさを再認識させる。

(4) 評価 2つの折れ線グラフを比べるよさに気付き関係を正しくよみ取れたか。

- ・よくできる：2つの折れ線グラフを自力で工夫してかいたり、比較してみるよさが分かり、関係を見つけて進んで説明したりできる。

(発表・グラフ・分かったよカード)

- ・できる：2つの折れ線グラフをかいたり、2つのグラフを比較するよさに気付き、関係を見つけたたりすることができる。